



町民投稿

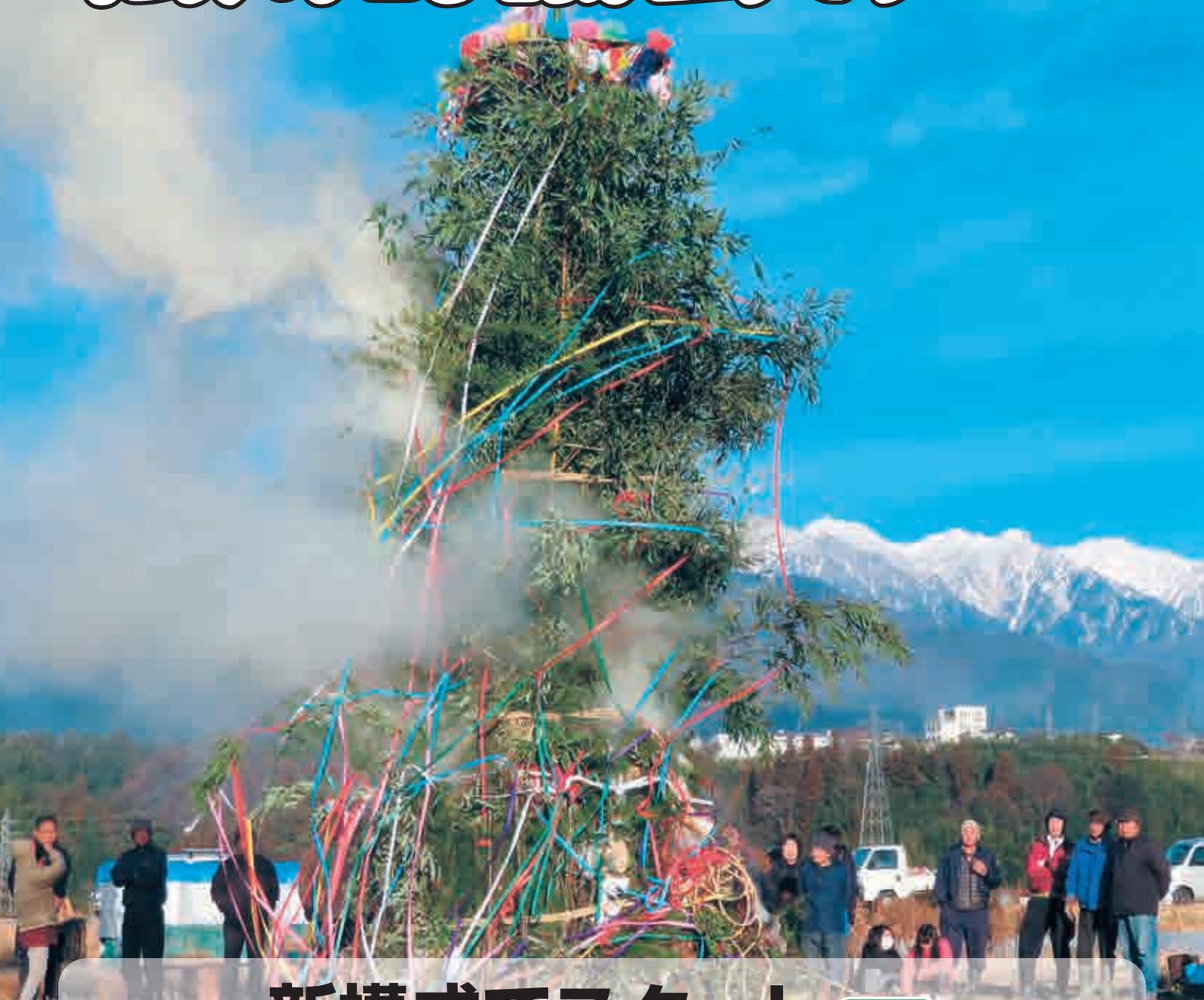
しめおた

注連新に千年杉の鎮もるる(勝俣)

2019.1

No.142

松川町議会です



新構成でスタート 2ページ

小・中学校エアコン設置は 4ページ

ツリドーム補正で可決 6ページ

町政を質す!一般質問 12ページ

もっと身近に!もっと元気に!

新構成で議会スタート

議長に米山俊孝 議員

副議長に坂本勇治 議員

第16期後半議会も新構成のもと12月4日に定例会が開会。

正副議長・各常任委員会・議会運営委員会など
今後の運営上に必要な議会構成を決定しました。

信頼される議会づくりをめざして



議長 米山俊孝

南信州広域連合議会議員
下伊那北部総合事務組合
議会議員

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様方におかれましては、健康やかな新春をむかえられたこととお喜び申

申し上げます。この度の議会組織替えにあたり、私が議長の職につきせていただくことになりました。身に余る光榮

營に取り組んでいく所存であります。少子高齢化など社会構造の變化のなか、議会の果たす役割は大きく、より

町民の負託にこたえる議会づくりが求められているものと思っております。住みよいまちづくり、住んで良かった町づくりに向け、町民にわかりやすい議会を目指すとともに、信頼される議会運営に努める決意であります。今後とも、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

元氣な議会を目指します



副議長 坂本勇治

南信州広域連合議会議員
下伊那北部総合事務組合
議会議員

この度、2年目の改選により副議長に就任いたしました。3期目も折り返しとなりました。今日まで

の経験を活かし、議長を補佐し公平公正な議会運営に努め、議員相互間の議論を尽くすなかで合意形成をはかる

いります。議会と執行部は車の両輪と言われますが、お互いに協力し合い、町民のためにより良い

町政実現を目指します。町の強化も進展させ、是々非々の姿勢を貫き、毅然とした態度で、議会として町民に信頼されることを目指します。議会の和、議論の場を一番とし、精一杯頑張つてまいります。町民の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたします。就任の挨拶と

新構成が発足 更なる活力ある議会をめざして

松川町議会の委員会等 構成 (H30.12.04 ~ H32.11.29)

●社会文教常任委員会



委員長
松井悦子



副委員長
中平文夫

委員	米山俊孝
委員	熊谷宗明
委員	黒澤哲郎
委員	菅沼一弘
委員	川瀬八十治

●総務産業建設常任委員会



委員長
間瀬重男



副委員長
島田弘美

委員	森谷岩夫
委員	坂本勇治
委員	大蔵洋
委員	佐藤史人
委員	米山郁子

●議会運営委員会



委員長
菅沼一弘



副委員長
黒澤哲郎

委員	間瀬重男
委員	坂本勇治
委員	松井悦子
委員	島田弘美

◇広報広聴常任委員会



委員長
熊谷宗明



副委員長
坂本勇治

広報部長	坂本勇治
副部長	中平文夫
副部長	大蔵洋
部員	松井悦子
部員	森谷岩夫
部員	川瀬八十治
部員	米山郁子

●議会改革推進会議



委員長
坂本勇治



副委員長
熊谷宗明

委員	松井悦子
委員	森谷岩夫
委員	黒澤哲郎
委員	中平文夫
委員	大蔵洋

広聴部長	熊谷宗明
副部長	佐藤史人
部員	間瀬重男
部員	島田弘美
部員	米山俊孝
部員	黒澤哲郎
部員	菅沼一弘

12月定例会 一般補正予算

ここが 聞きたい！

小・中学校エアコン設置は

質問 監理業務として約500万円計上されているがどのような内容か。

答弁 工事の進行監理と作業内容確認、変更などが出た場合の設計変更業務です。

質問 工事が2億5000万円から最終概算2億2800万円に変更になったがこれでは変更はないのか。

答弁 変更の可能性はゼロではない。この金額を予算化し、設計事務所、学校とも協議するなかで設計内容については精査し発注していく。

質問 一台当たり295万円とあるが、天吊りで126万円、床置きで116万円くらいで設置できるはずであるが補正予算に計上された金額は妥当なのか。

答弁 市場調査をしたなかで実勢価格、割引率とも採用して金額計上している。

質問 予定とした交付金5386万円が足りなくなった場合の対処は。

答弁 国での補助要綱などが定まっていない状況である。現在の予算については財源を変更するような形も考えられる。国の動向を十分注視しながら進めていく。

質問 設置台数が当初より12台多くなっている。全体の事業費が大きくなると思うが。

答弁 当初は概算の事業費であり、台数増加での予算金額である。

質問 民間と公共事業の積算価格の違いは。

答弁 町が発注するに

当っては工事ごとの数量や単価を把握し金額を設定して、基準に基づいた形で設計事務所

に設計依頼している。

質問 ランニングコストの計算が必要であるが。

答弁 電力会社も一社ではない。電気料金を抑えていくような方式を考えていく。

質問 夏季だけでなく冬季における暖房についての考えは。

答弁 今、各教室にストーブが設置されているのでストーブを利用していく。

質問 設置されない部屋があるが。

答弁 学校側と協議するなかで使う頻度で考

えていく。

質問 吹き出し口に近

いとこが冷え過ぎて、遠くが冷えないという問題がある。教室の環境は。

答弁 直接児童生徒の所にあたるような形で設計はしていない。温度調整は、各学校で一定ルールを決めていく。

質問 メーカー指定はあるのか。

答弁 メーカー指定はせずに、同等品以上という形で入札に付していく。

質問 各地でエアコン設置事業を計画しているが、本当に予定工期に間に合うのか。

答弁 メーカーは増産状況と聞いているが大

がかりな増産体制ではないので早い調達をしていきたい。設置作業員にも限りがあるのでスピード感を持って事業を進めていきたい。

討 論

反 対

設備概算工事費2億2800万円のそれぞれの工事内容の細かい発表が無いなか適正かどうかという判断ができない。

川瀬議員

社会文教常任委員会の付帯決議で実施設計ができたなら議会へ報告し意見を聞くこととある。臨時議会を開いて協議すべきだ。

佐藤議員

概略設計だけでは賛成できない。エアコン設置費用が高いという意見があり、適正価格で購入し町民に対しても負担にならないようにすべきである。

熊谷議員

賛 成

見積書の公開については公正で公平な入札に付するために出来ないという理由がある。仕様書のなかで少しでも工事金額を下げる工夫をすること、設計に当たっては各学校や教育委員会と協議をおこなって実施するとある。実施設計も充分考慮された図面である。

中平議員

**臨時福祉給付金事業
補助金返還金**

質問 臨時福祉給付金事業補助金返還金が多いが算定での改訂があったのか。

答弁 28年度消費税率引き上げの緩和として1人当り30000円給付され交付率が86.53%。臨時福祉給付金は1人当り1万50000円で支給率94.38%でした。申請されなかった方に電話や通知により個別には催促しましたがお断りがあり、この分が償還に結びついている。

ふるさと応援基金

質問 なぜ減額するのか。

答弁 当初の目標に届いていない。原因としてリピーターに繋がっていないのとリニューアル時期が1ヶ月遅かったことによる。返礼品の予定数、在庫が

足りないこともある。事業年度末迄に時間があり、改善の余地はあるがなぜこの時期なのか。

質問 事業年度末迄に時間があり、改善の余地はあるがなぜこの時期なのか。

答弁 ふるさと納税と頂戴する税の実績相違と基金の状況から見込みをつけるなかで補正した。

交通安全対策工事

質問 交通安全対策工事の内容は。

答弁 名子の町政懇談会で要望を頂いております町道大草線の通学路にグリーンベルトと横断歩道をつける。下沢建材店側のカーブミラーを凍結防止タイプ

教育支援他賃金

学級が維持できない場合は当面は支援員の先生方の応援をいただき努力されており、

当時の皆様は毎日が戦いであると認識している。難しい問題を解決していくには経験のある先生方をお願いするのが一番と思うが、支援員の給付増額が少ないのでは。どう挺入れられるのか。

交通安全対策工事

質問 交通安全対策工事の内容は。

答弁 名子の町政懇談会で要望を頂いております町道大草線の通学路にグリーンベルトと横断歩道をつける。下沢建材店側のカーブミラーを凍結防止タイプ

一般会計補正予算（第4回）主な補正内容

歳入		歳出		
科目	国県支出金	寄付金	繰入金	町債
補正額	60,957	△ 20,000	76,478	100,800
事業名	小中学校エアコン整備事業 	ふるさと応援寄付金事業 	道路維持関連工事 	遺跡発掘調査 
補正額	228,086	△ 20,000	11,000	8,594

討 論

平成30年度松川町一般会計補正予算（第4回）について

反 対

ふるさと納税2千万円減額の補正は創意工夫すれば目標金額に達成するのではないか。

熊谷議員

意 見 書

安心・安全の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求め

賛 成

これは切実な問題である。現場で働く方だけの問題ではなく医療や介護を受ける立場になった時にマイナスイメージが生じるということが想像つく、国民全体の問題だと思う。中々改善がされない根本的な原因は何か非常にもどかしい思いがある少しでも国に判って頂きたいとせつに思う。松井議員

第3回議会臨時会

ツリドーム本格導入審議

11月27日、第3回議会臨時会が開催された。8月よりテスト運用されてきた森林を活用したグランピング事業(ツリドーム)の本格導入に向けた30年度一般会計補正予算(第3回)が上程され、審議した結果賛成多数で可決された。

観光を通じて町の経済効果を上げる必要性から、旧青年の家の後利用の一環として「ツリドーム」の導入の企画運営を観光まちづくりセンターへ委託し、

観光を通じて町の経済効果を上げる必要性から、旧青年の家の後利用の一環として「ツリドーム」の導入の企画運営を観光まちづくりセンターへ委託し、



冬季(12月～3月)休眠中

期間限定営業収支実績 (9/8～10/28) (千円)

項目	金額	備考
売上(収入)	487	利用者数86人(23組)
費用(支出)	1,223	
賃金	713	アルバイトスタッフ
需用費	132	
役務費	54	賠償責任保険
使用料及び賃借料	324	トイレレンタル料・他
営業利益	△736	

導入に関する費用補正

○本体導入費用 (千円)

項目	金額	備考
ツリドーム導入費用	18,000	6,000×3基
小計	18,000	推進交付金9,000 辺地債9,000

○周辺整備等

項目	金額	備考
トイレ整備工事	14,000	アルプスS
トイレ整備設計管理料	1,000	アルプスS
移設整備工事	3,000	レイクSからアルプスSへ
フィールド整備工事	1,000	フォレストS
デッキ整備工事	2,000	3箇所分
小計	21,000	辺地債
合計	39,000	

3ヶ年収支計画試算 (千円)

項目\年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上(収入)	8,950	11,635	14,018
宿泊者数	689人	895人	1,078人
稼働率	33%	43%	52%
費用(支出)	10,444	11,333	12,123
営業利益	△1,494	302	1,895

質疑

質問 先進地視察旅費が計上されているが、何処のどのような施設を視察にいくのか。

佐藤議員

答弁 テスト運用期間を通じて経営のノウハウを積み上げてきたなかで、見えてきた課題解決のため、他のグランピング事業の先進地を計画している。

産業観光課長

「たい」という熱意を大切にするのが一番大事だ。米山(俊)議員

●観光・交流人口を増やしていくには、既存の交流施設以外にも目玉が必要だ。間瀬議員

●説明を受けるなかでセンターが「絶対やりたい」という熱意を感じた。中平議員

●旧青年の家の後利用の点からも観光の目玉の一つとして必要と判断する。菅沼議員

討論

◇賛成

●一つのことを成し遂げるには、チャレンジという大きな壁がある。報告書より運営できると判断する。熊谷議員

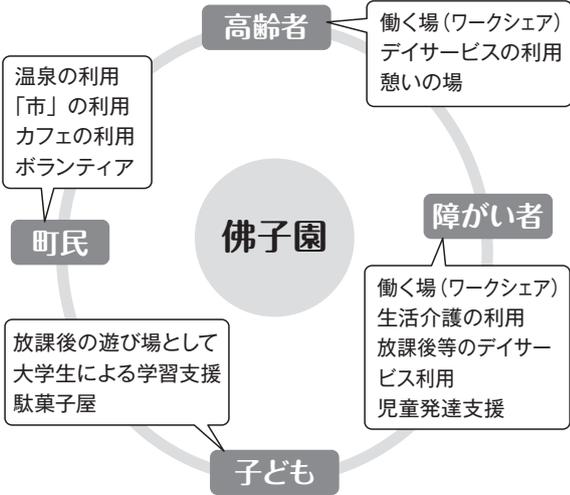
●テスト運用したなかでの評価で、問題点や改善点が正確に把握されている。運用に携わった人がどう感じたかであり、事業を進め

◇反対

●3ヶ月のテスト期間の実績では売り上げに対し、経費が大幅に掛かっている。計画されているグランピング事業の先進地視察を実施され、観光の目玉となるのか十分検討された上で再度提案してほしい。佐藤議員

社会福祉法人 佛子園
「キーワードはごちゃませ」
10月8・9日石川県

佛子園における「ごちゃませ」とは
「皆が一緒になり垣根なく生活する」



地域共生社会の拠点施設として開設準備の「元気センター(仮称)」の課題解決のため、保健福祉課が企画した石川県の社会福祉法人「佛子園」の行政視察に議員有志9名が参加した。

「佛子園」は「ごちゃませ」の理念のもと「生涯活躍のまちづくり」に先進的に取り組み、全国の自治体や福祉関係者から注目されている。理事長の雄谷氏は、幼少期祖父が開設した障がい者施設で障がいをもつ子どもと寝食を共にして育ち、その後特別支援学級の教員や

青年海外協力隊員として多くのことを学ぶなかで、縦割りの社会福祉行政の弊害を痛感し、多世代が交流できるコミュニティの実現。若者も、高齢者も、子どもも障がいのある方も無い方も、皆が役割を持ち機能し、参加する社会を理念に掲げ、約750人の職員がいくつもの施設をケースワークしている。今回「佛子園」が運営している福祉施設の「三草二木西園寺」「Bs行善寺」の視察研修と「シェア金沢」の施設見学を行なった。今回の視察で『ごちゃませ』の世界に接し、これからの福祉政策へのヒントが多く得られた。新しく解説される「元気センター」は多くの団体や住民の利用が予定されている。利用者の声を反映した福祉施設が求められる。

ペーパーレス会議
出張セミナー受講
11月7日役場会議室

ペーパーレス会議システムとは如何なるものか。タブレット端末を使用した学習会を議員と一部職員の参加を得て実施した。

議場のICT化やペーパーレス化への取り組みは近隣市町村でも進められており、既に実用化されている自治体もある。議会では避けて通れない課題として、先進地視察や講演会に参加し導入化の検討を重ねてきた。導入に際しては行政側の理解、議会事務局の充実や議員と職員のスキルアップなど、多くの課題が見受けられる。経費削減や行政の効率化と職員の負担軽減が見込めるため、予算化要求を検討している。

No.141議会だよりの訂正について

議会と語る会においてご指摘を頂きました。議会だよりの141号の憂慮する町運営(P10~P11)において訂正箇所があります。P11の2段目の5行目「議会は調査権を発動し意見広告記載の事実関係に関係者から聴取し」を削除し、「議会は関係者から話を聞き」に訂正し、お詫びいたします。

P12の説明文が分かり難いとの指摘がありました。委員会手当の復活については、今回復活した手当は、議会が主催する委員会や会議等多数あり

(町主催の委員会、協議会 国保運営協議会 生活安全推進協議会 等多数あり)

では、町が主催し直接一般住民の代表や有識者を委員とする審議会の委員会です。今までは一般住民の委員には支払われていたましたが、委員会に参加していた議員には支払われていませんでした。このことは、自治法第203の2条の規定により支給が義務付けられています。これにより今回見直して支給を受ける事となりました。

佐藤史人議員の行動に対する議会対応

7月、役場庁舎内で火災報知器を作動させ職員に動揺など与えた件、一般住民に対しての不可解な行動など一連の行動に対して議会として対応を協議した結果、議長より本人に厳重注意をいたしました。

だより

社会文教 常任委員会

(月)に総務産業建設常任委員会を行い、委員会ご

社会文教常任委員会は、住民税務課・保健福祉課・教育委員会及び議会事務局の分野を担当しています。

し、能率的に処理するために設置された機関です。

質問・意見

答弁

- ①エアコン設置について国からの交付金が5,386万円余の予定だが、工事費が下がると交付金も下がるのか。取付での耐震性には問題はないか。
- ②賦課徴収費委託料、地方税納税システムの改修委託減はなぜか。
- ③社会福祉総務費、臨時職員の賃金減について、保健福祉課から町づくり政策課へ移動したものだそうだが、保健福祉課の業務はどうなっているのか。
- ④障がい者福祉費、地域活動支援センター水道料5万円の増は何か。
- ⑤小中学校のタイムレコーダーと献立ソフトの購入費はどのようなものか。
- ⑥国保特別会計補正予算で、今回1億円の積み立てが計上されているが、なぜか。
- ⑦介護保険事業の配食サービスの委託金、32万1千円の増は何か。

- ①設置面積に基準単価2万3,700円×補助率3分の1を掛けたものが交付金となる。したがって、工事費が下がっても交付金や起債には変更が無く、一般財源についてのみ減る。耐震基準についてはクリアしているが、十分配慮して設計施工を行う。
- ②町で受けた確定申告のデータを加工し税務署へ転送を行うシステムである、毎日転送作業を行わなければならない町にメリットが無い。税務署の依頼で予算化したが対応が出来ないと判断で、今回予算を落させてもらう。
- ③臨時職員は日本赤十字社の社費等の事務をしていた。月により仕事量に波がある。保健福祉課の仕事は他の職員で分担して行い、急遽退職した町づくり政策課職員の代わりに移動してもらった。
- ④漏水が発見されたが、建物が古く個所の特定ができない。常時漏水しており、夜間は元栓を止めている。漏水に伴う使用料の増である。
- ⑤タイムレコーダーは3校の事務室にそれぞれ設置し、入退室時に使う。栄養ソフトはアレルギーの子どもへの対応や料理のメニュー作成などに使うもので、著作権法があり1個所で1台の稼働となる。
- ⑥昨年より医療費が減少傾向にある。余剰金が出る見込みなので基金に積み立てたい。
- ⑦ボランティアにより、平日の昼食を週に1・2回配っている。当初予算編成時には40名程だったが、新しく申し込んだ6.2人分が増加予定。

調査・研究

午後中央小学校に設置されているエアコンの設置場所及び設置状況について調査確認。宮ヶ瀬橋架け替えにともなう県道遺跡発掘調査を行っている馬坂遺跡発掘調査現場の視察を行いました。



約4500年前の地層を発見

総務産業建設 常任委員会

総務産業建設常任委員会には、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・環境水道課・建設課・会計室の分野を担当しています。

委員会

12月6日(木)に社会文教常任委員会、12月10日
とに現地調査を実施しました。

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査を分担

質問・意見

答弁

- ①ふるさと納税額の当初予算額5,800万円から3,800万円に減額補正された。従来やっていたやり方が、きちんと観光センターへ繋がっているのか。また果物の供給が限界では。
- ②中山間地域活性化推進事業費大沢北部の新しい協定について認定の時期と、内容に附帯事項がついたのか。
- ③庁舎前に建設予定の防災倉庫の220万円の増について坪単価、建物の規模については。
- ④落雷による防犯灯116基の修繕費50万円について。
- ⑤農業集落排水事業特別会計工事請負費240万について。

- ①今年度より管理業務全般を観光センターへ移管した。魅力ある返礼品の開発など拡大していなかった部分があり、30年度売り切れという状態が多かった。抜本的な改革をしないと寄附額5,000万円以上を望むことは難しいと感じた。南信州産ということで拡大を検討している。エリアが広がるので品数も増えてくる。
- ②特に附帯事項は無い。問題が起きた地区であるので、説明会、打ち合せ、現地調査を入念に行い、県の南信州振興局農政課の方にしっかり指導を受け、6月29日再協定を行った。
- ③不動産鑑定士に評価を依頼して坪単価7万413円、平米単価2万1,300円で試算頂いた。災害時拠点となるような防災備蓄倉庫と事務所の併設で合わせて情報収集対応公用車の車庫の整備を行う。
- ④防犯灯は現在約1,200基、町内に配置をしている、落雷防止装置がないものが主に壊れており、8月以降順次落雷防止器具に順次替えてきている。
- ⑤公共柵で5件工事増があり、そのうち2件が本管からの距離が非常に長いとこと、本管の埋設の深さが3mを超える箇所があることで、副管をつけるなど特殊な工事があり高額となった。



拡幅工事完成した市ノ坪線 あと利用を求めてきた林檎屋本舗



調査・研究

午後、現地調査を行いました。宮坂の町道22号線について説明を受け、続いて滝の沢市ノ坪線の拡幅工事の完成状況の視察を行った。その後清流苑南隣休業中の林檎屋本舗跡施設の問題について説明を受けました。

議 決 結 果

平成30年 第3回臨時会 議決結果

件 名	結果	内 容
平成30年度補正予算 一般会計歳入歳出補正予算（第3回）	可決	3,900万円を追加し62億3,469万6千円とする

平成30年 第4回定例会 議決結果

件 名	結果	内 容	
松川町一般職の職員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	人事院勧告に伴う条例改正	
松川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	介護保険料の軽減前保険料と軽減後保険料を条例に規定	
松川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の規定を適用する事に伴う関係条例の整備	
松川町水道事業の余剰金の処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		
企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	人事院勧告に伴う条例改正	
松川町水道条例の全部を改正する条例の制定について	可決	公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の規定を適用する事に伴う関係条例の整備	
松川町下水道事業受益者負担金条例の一部を改正する条例の制定について	可決		
松川町公共下水道最終処理場設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決		
松川町農業集落排水処理施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決		
松川町水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決		
松川町特別会計条例の一部を改正する条例の設置について	可決		
松川町税以外の諸収入に対する手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決		
平成30年度補正予算 一般会計歳入歳出補正予算（第4回）	可決	2億2,469万円追加し64億5,938万6千円とする	
国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）	可決	84万円追加し14億71万4千円とする	
介護保険事業特別会計補正予算（第2回）	可決	1141万2千円追加し12億8,054万8千円とする	
保養宿泊施設事業特別会計補正予算（第2回）	可決	科目変更による	
公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）	可決	科目変更による	
農業集落排水事業特別会計補正予算（第2回）	可決	科目変更による	
水道事業会計補正予算（第3回）	可決	科目変更による	
意見 陳情	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替労働の改善を求める陳情	採択	
	「子供達に安全で適正な工事価格で小中学校へエアコン設置ができるよう慎重な判断」を求める請願	採択	
選 任	松川町固定資産評価審査委員	同意	宮澤憲司氏（新任）
	松川町監査委員	同意	森谷岩夫氏（新任）

●多数意見で議決されたもの

○ 賛成 ● 反対

件 名	米山郁子	佐藤史人	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	菅沼一弘	黒澤哲郎	坂本勇治	熊谷宗明	米山俊孝	森谷岩夫	島田弘美	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
平成30年度補正予算 第3回臨時会議 一般会計補正予算（第3回）	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	可決	3,900万円を追加し62億3,469万6千円とする
平成30年度補正予算 第4回定例会議 一般会計補正予算（第4回）	○	●	●	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	○	○	可決	2億2,469万円追加し64億5,938万6千円とする

10月～12月 主な議会日程

10月1日(月)	議会改革推進会議	10月30日(火)	蓮田市議会視察研修来町
10月3日(水)	中部伊那町村議会正副議長・事務局長会議 広報部会	～31日(水)	
10月4日(木)	国会視察研修	11月1日(木)	議会と語る会(役場大会議室)
～5日(金)		11月6日(火)	中部伊那町村議会協議会研修会
10月10日(水)	社会福祉法人佛子園視察	11月7日(水)	ITC(ペーパーレス化)に関する研修会
～11日(木)		11月14日(水)	全員協議会 総務産業建設常任委員会
10月12日(金)	広報・広聴常任委員会	11月16日(金)	長野県地方自治政策課題研修会
10月16日(火)	議会と語る会(上新井地区公民館)	11月27日(火)	第3回臨時会・全員協議会
10月18日(木)	議会と語る会(名子地区公民館)	12月4日(火)	全員協議会
10月19日(金)	下伊那北部町村議会議員総会		第4回定例会本会議開会
10月20日(土)	議会と語る会(福与ふる里ふれあい館)	12月6日(木)	社会文教常任委員会
10月21日(日)	議会と語る会(古町地区公民館)	12月10日(月)	総務産業建設常任委員会
10月26日(金)	下伊那北部総合事務組合定例会 議会と語る会(上片桐改善センター)	12月13日(木)	産業懇談会(松川町商工会)
10月27日(土)	議会と語る会(上大島地区公民館)	12月18日(火)	一般質問
10月30日(火)	飯伊市町村議会議員研修会	12月20日(木)	全員協議会・本会議(再開・最終日)
		12月28日(金)	広報部会

ただ 町政を質す！ 一般質問

- 1 熊谷宗明議員（12ページ）
 - ・女性活躍社会に向けた取り組みについて
 - ・新しい時代に対応する教育とは
 - ・景観行政団体へのいこうについて
 - ・任期満了を迎えるが今後の進退を
- 2 米山郁子議員（13ページ）
 - ・効果的な行政運営について
 - ・みんなで支え合い子ども達を育む事業について
- 3 坂本勇治議員（14ページ）
 - ・町の課題への解決策をどのように考えるか
- 4 中平文夫議員（15ページ）
 - ・29年度行政評価の今後の活用
- 5 川瀬八十治議員（16ページ）
 - ・小学校・中学校エアコン設置について
 - ・店舗跡地を利用しての福祉施設の充実について
- 6 菅沼一弘議員（17ページ）
 - ・子どもの健全育成対策について
 - ・放課後児童健全育成事業について
 - ・放課後デイサービスの充実について
- 7 佐藤史人議員（18ページ）
 - ・旧青年の家はどう活用していくのか
 - ・新年号現年度の予算編成の方針とそのやり方は
- 8 黒澤哲郎議員（19ページ）
 - ・人口減少の中における町の発展について
 - ・子育て、教育課程にどう対応していくか
 - ・防災の取組について

一般質問は議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。本会議での傍聴をお待ちしております。



お知らせ

チャンネル・ユー 議会番組のお知らせ

「議会の時間」は毎月の議会活動の内容を、概ね第3月曜日午後7時より放送を予定しています。

再放送も併せて詳しくは番組表をご覧ください。



定例会及び各臨時議会の議事録、一般質問等に関しては図書館にて「松川町議会会議録」としてご覧いただけます。
尚過去の会議録も含めてご覧いただけます。

議会だよりがアプリで見れる



マチを好きになるアプリ



QRコードからもダウンロードできます

今月の表紙

生田福沢自治会の“どんど焼き”の風景です。雄大な中央アルプスの雪景色を背にお焚き上げに、平成から“新しい時代”に皆それぞれの願いを込めて！

人 事

固定資産評価審議委員
平成30年12月4日から3年間



宮澤 憲司氏
新任

監査委員
平成30年12月4日から2年間



森谷 岩夫氏
新任

問 児童館利用者の増、安全管理は

答 夏休みの受け皿、チャレンジスクールまっかわを計画

(問) 女性活躍社会のなかで、未満児保育の急増と共に児童館の登録児童数も年々増加してきている。上片桐児童館では全校生徒の6割が利用しており、名子児童館では平日で90人近い登録がある。

名子児童館では、施設の拡充はしたものの部屋数が多く、先生方の目が行き渡らないので安全管理上、非常に危険である。厚生員の確保など一刻も早く体制を整えるべきだが、



熊谷宗明 議員

(子ども課長) 厚生員は随時募集しているが、勤務の時間帯もあり応募がないのが実情である。施設、運営面に関しては来年度に向けて体制を整えていく。



平日90人、長期利用者82人（名子児童館）

(問) 夏休みなどの長期利用者は名子児童館で82人の登録がある。

大勢の児童が一日過ぎていると、どうしても喧嘩やゴタゴタが起きてしまうので、夏休みの延長には閉口し

てしまうとの現場の声があるが。

(教育長) 地域で一緒に遊ぶ仲間が少なくなつてしまい、長期休業には児童館で過ごし、友達との関わりを求めている現実がある。

夏休みの延長も考えながら、児童館以外での子ども達の居場所として15日程「えみりあ」において、主体的に学

べるよう英語や漢字検定、自然体験学習、宿泊体験などを行う「チャレンジスクールまっかわ」を計画している。

(問) ICT教育ではタブレット端末が支給されているが、ソフトが充実しておらず、イ

ンターネットも検索程度しか使えないが。

(教育長) 先生方が子ども達に任せて学習の道具として与え切れていない。先生方のサポートができる体制を人的支援も含めて考えていきたい。

(問) 学校・家庭・地域のつながりの強化は。

(教育長) 北小見守り隊に続き、中央小ではケヤキ応援団が組織され、68人が活動。中学校では松中サポーターズ組織化の動きがある。

問 景観計画策定、浮き彫り課題の解決は
答 庁内会議を開きまちづくりにつなぐ

(問) 景観行政団体に向けて、各区でワークショップが開かれている。残したい景観と改善したい景観など色分けしていくプロセスのなかで、地域課題が浮き彫りになってくる。

すべてをコンサルタント会社に任せるのではなく、課題には全課で取り組むことが重要と考えるが。

(建設課長) ワークショップの結果を参考にして方針を定めてい

く。

景観計画の策定への取り組みの周知と意識改革を進め、アンケート結果やワークショップの結果を踏まえて庁内会議を開き、町づくりにつなげていく。



大きなカヤの木が3本あるに！（古町地区）

問

幼児教育無償化と環境整備は

答

体制を考えながら整えていく

(問) 来年10月より幼

児教育無償化となるが町として消費税増税分と無償化によって生まれた財源をどこに使っていくのか。

たい。

(問) 保育料の無償化に伴って生まれた財源は教育や保育の充実に使っていたらどうかと思

(町長) 少子高齢化とい

うことが非常に叫ばれるなかで、子供たちの子育てのしやすい環境づくりという事は、町の重点施策としてさまざまな形で取り組んできた。幼児教育の無償化、これはやはり非常に大切だというふうに思っている。町でもまた、財政状況等を踏まえ

(町長) 財源について算定が出ていませんが教育や保育の充実はやはり基本だというふう

に思っている。しっかりと汲み取って計画を立てていきたい。

(問) 無償化の負担を地方には問題があり、国の全額負担を求め

るために、広域として

現在ほどのように取り組んでいるのか。

(町長) 広域として統一して動いていくというところまでは至っていない。県の町村会、あるいは全国町村長会もある

場でしっかりと国の方へ意見を具申してほしいというふう

(問) 保育園正職員率32%で運営されているのが現状である。多様化する保育で対応を

せまられている現状は理解するがこの比率で維持されるのか。

(町長) 今後については、少子化も進行して

いくが、未満児の増加とか、支援を必要とする園児の数など、職員の採用については考えてい

かなければならないかなというふう

に思っている。すべての職員を正規というわけにはいか

ないが今後の現実や、正規と臨時の皆さん、パートの皆さんの業務の内容を踏まえる中で、バ

問

運営参画事業所募集はこれでよいのか

答

あり方について検討していく

(問) 元気センター仮称

の運営参画事業所を募集されているが賃料として15万円の直接費や工事負担もある。現状のこともカフエは企業様のご厚意で賃料や光熱費が無料となっている。

本来であれば業務委託や事業提携をしてこちらからお願

いすべき事業ではないか。なぜこのような募集をされるのか。状況はどのよう

になっているのか。

(健康福祉課長) 町の施設の一部をお貸しするという観点で賃料として、年

新たな町内での芽生えという

ようなことも視野に入れながら引き続き募集を続けていく。負担についても、解消するまでにはまた時間があるので、あり方については、もう少し検討していく。

(問) 議会では「子供の居場所づくり支援事業に

対する助成制度の充実について」を北部ブロック並びに中部伊那ブロックにおいて県に陳情を出している。この事業の考え

は。

(町長) 検討委員会もござい

ますので、検討していか

なければというふう



地域の支え、工夫された食事メニュー(子どもカフェ Hug)

いっぱん質問

問 課題解決への考え方は地域の皆さんの意見を聞いていく

(問) 東小学校跡地利用検討委員会からの答申後から4年が経過している。利用状況と今後の方針は。

(町長) NPO法人「生東森の会」の皆さんに管理をお願いして、維持をしている。地域の皆さんたちがポルタリングなどさまざまな工夫をして使ってもらっている。利用者も町内外から多くの若者の皆さんがおおいでになってい

る。そして地域の皆さんが地域のよりどころとしてどうしていくかと



坂本勇治 議員

いう機運が高まっていると認識している。

後利用の今後は、行政が進めるのではなく地域の皆さんのお考えをしつかりと聞くなかで判断をしていく。

(生涯学習課長) 11月末時点で、延べ団体数が363団体、延べ利用者数が5,487人の皆さんにご利用いただいている。

(まちづくり政策課長) 地元の方々と地域おこし協力隊の皆さんが、様々な企画運営を行って後利用に挑戦をしているところですよ。

(問) 地域の活性化は意欲的に運営が進んでいて非常に良いことだと思いが、将来の持続性を考えると収入に関わる取り組みが見えない。

い。答申にもあったジビエの加工所や6次化の拠点等への取り組みは、複数の課にまたいでいる。取り組みの検討は進んでいるか。

(町長) 施設の利用を行政だけ、或いはノー



何故できない新たな取り組み

タッチではやっていけないと認識している。地域のよりどころ福祉関係、高齢者、子供、宮沢芳重、産業に関して、行政がある時には大きな予算を使っている。3か所のうち2か所は取り下げ、1か所について適地か否かを継続して検討している。今後県やJRに対しては、交渉、問い合わせ、協議は町がやっていく。

(まちづくり政策課長) 現在各課との庁内での検討は出来ていない。使い方の可能性を模索している状況で、これをしばらく継続していく。

(感想) 2年前にも同じ質問をした。今回も同じ答弁だ、何も進んでいないことが残念だ。先ず『やってみる』事で課題も見えてくる、手を付けないのでは何も進まない。

リニア残土問題は

(問) 生田地区へのリニアの残土受け入れについて住民同士に結論を任せると言った方針

は無責任だ。町主導で解決を目指すべきだと思うが如何か。

(町長) 町主導で3区の合同連絡会を立ち上げて5回会議を持っていく。3か所のうち2か所は取り下げ、1か所について適地か否かを継続して検討している。今後県やJRに対しては、交渉、問い合わせ、協議は町がやっていく。

(問) リニアの残土は水捌けの良い土で盛土に適している。町内にも安全に利用出来る場所があるが、検討は進めているか。

(まちづくり政策課長) 発生土の埋戻し盛り立て場所の募集については、1月に町のリニアの対策協議会を開催する予定だ。

青年の家について

(問) 旧青年の家の跡地利用についての検討は

8年も前から始まっている。議会からも利用計画案を何度か出している。遅れている理由は。

(産業観光課長) 生涯学習課、まちづくり政策課、産業観光課の3課で検討を始めたが、使用目的の決定が出来なかったこと、改修に多額の公費が投入されること、また、現観光まちづくりセンターを立ち上げて行く事などに時間を要してしまったと考えている。

(要望) 元々教育施設であり、学生や企業の研修合宿等での使用が基本であり、+αでの利用者増で維持費は出さずだった。休止を長引かせたことで条件が悪くなるばかりだ。早急な運用を要望する。リゾートホテルや高級ホテルを想定するのはあり得ない。

問 平成29年度行政評価の今後の活用は

答 来年度の予算に反映していく

(問) 行政評価が公開された。委員の皆さんの貴重なご意見が伺える。どのように活用するか。

対して、どの様に対応すべきか。また加入促進に対して町はどのように考えているか。

(まちづくり政策課長) 今後の事務事業、来年度予算に反映していくか検討する。

(問) 持帰って検討するのではなく、各課長も直接意見を聞くべきではなかったか。



(まちづくり政策課長) 職員が参加してご意見を伺う事も検討する。

(問) 意見の中でも自治会運営、防災面が重要であると指摘している。特に高齢者の未加入者に

(まちづくり政策課長) 各自自治会よりのアンケートを集計中である。類似する問題点や悩みを抱える自治会もある。集計してフィードバックして共有する課題について議論の場を設ける。

(意見) 住民サービスを進展するには自治会の力がどうしても必要

である。すでに隣組の存亡についても話題になっている。自治会長も一年交替が大半である。自治会任せではなく、問題解決には行政も積極的に関与しないと進展は期待できない。

(問) 防災についても自主防災組織が重要な役目を持つ。意見の中で防災リーダー経験者を活かせる仕組み作りについて問われている。すでに一般質問で登録制について提案しているが。

(総務課長) 意見もあり必要性を感じている。潜在する人材には広く講習会とか参加を呼びかける。今後は知識の普及、啓発、運営などに協力して頂く体制ができたらいと思うの

(問) 次に松川町地域防災計画・国民保護計画が策定され、議員にも配布されたが膨大な計画書である。配布先と活用方法はどうか。

(総務課長) 県・消防署など関係する部署へ配布したが膨大で読むのは大変である。ホームページから必要部分を活用してほしいと思う。

(問) せっかく作成した資料である。このままでは活用しづらい。抜粋版を作成し、避難所や自治会へ配布して広く活用を促進してはどうか。

(総務課長) 広く活用するために新年度予算で検討する。

(問) 行政とJAの協力体制をさらに充実してほしいとの意見があるがどの様に考えるか。

(産業観光課長) 農業経営はJA抜きには成り立たない。現在も諸々協力体制を密に行っているがさらに行う。

(問) 今年度、「松川農業みらい塾」を開催しているが進捗状況と次年度以降の取組についての計画があるか。

(産業観光課長) 今年度は経営計画や簿記も含め6回の講座を開催し終了した。成果も上がっている。次年度以降も引き続き開催して行く。

(意見・要望) 今回は行政評価委員のご意見、要望とそれに関連して各地区からも同様な要望が上がっている。それらを単に聞くだけでなく次年度の予算編成に活かせるよう対応することを要望する。

金の検討も願います。



問 安全で適正な価格でエアコンを

答 小・中学校への設置は来年度で実施

(問) 今年の夏は異常な暑さであった。エアコン設置に向けての思いと、どのような対策を考えているか。

顧問が活動場所について、健康観察するように指導をした。夏休みについては、

(町長) 小・中学校については、長寿命計画の中で、2年位かけて実施の予定であった。

休みの延長や「チャレンジスクール」を設けて、子どもの居場所づくりを目的とする計画も検討をしている。

今年の夏の暑さを考えると、早急な対策が必要となった。国の補助金を期待して、起債事業として行うように決断をした。

(問) 安全面を考えると、長時間いる普通教室には床置き型の設置が良いと思う。しかし、天吊り型の設置もあるが、その理由は何か。

天吊り型の設置は、築

50年以上も経過している。耐震対策や、強度計算はできているのか。

(こども課長) 施工に

ついては安全を一番に考えている。教室内に配置されているロッカーや棚類がある。そういった事を考慮して、設計会社に凶面の提案を依頼している。また、耐震補強のデータ等も各学校の状況を踏まえて、提出をお願いしている。

(問) 工事費の概算費用が提示されているなか、

機械工事・電気配線工事・配管工事代が、概算費用として提示されない。昨年に3台の天吊り型のエアコンが設置された。機械代が約90万円、工事代が約280万円でも安価な工事価格であった。このような事を説明しての実施設計の業務委託をされたか。

(こども課長) 概算費用については、可能な限り精査をした金額をもって予算計上とさせている。金額というものについては、これから入札を実施する上で公平・公正に付するた

め公示できない。

問 「元気センター」施設とは

答 地域共生社会の拠点

(問) 「老人福祉センター」が無くなり、これからはどうなるのか。現在の場所に新しく建てることはできないのか。

(保健福祉課長) 破産管財人から提示された価格については、固定資産税等の評価額と照らして、安価であることから購入に至った。

(保健福祉課長) 「老人福祉センター」の施設は無くす方向で考えている。「元気センター」の設立により、今まで不便な箇所については解消ができる。それぞれの施設を一つの屋根の下で新たな連携を構築し、地域も巻き込んだ「こ

(問) 瑕疵担保責任についてはどうなっているのか。

(保健福祉課長) 瑕疵担保責任については、売買契約上、破産管財人になる弁護士は一切の責任はないとされている。仮に土壌汚染の環境問題があっても同様である。

ちゃまぜ」の部分を創出し、各々が持つ機能を一層高めあえる。

(要望) 新たな取り組みとされる事業であり、多くの人から注目をされる。同時に期待が大きいため、是非とも良い施設になるようにお願いをしたい。



川瀬八十治 議員



主に設置予定の床置型



昨年設置された天吊り型

(問) 建物は350万円で購入したが、ごみなど撤去費用が592万円かかる。更地での購入をすることはできなかったのか。

子ども健全育成、非行対策指導は

環境を整え支援に力を注ぎたい

(問) 子供は家庭の宝

であると同時に次の世代社会を担う一員として大事に育成されなければならぬ。学校でいじめや不登校があり校外では事件・事故そして非行問題があり家庭や学校の責任だといった追及論のみでは解決されない。地域全体の問題としてとらえ、解決のために取り組む必要があると考えるが。

(町長) 子育て支援と

いうことは、重要課題として取り組んでいる。いろんな課題で子育てのしやすい環境を作っ



菅沼一弘 議員

ていくこと、またお母さんたちが再び仕事に復帰し、女性の活躍・定住につながるものと考えている。子ども・子育て支援には力を注いでいきたい。

(問) 子どもたちが社会のルールを身につけるため、しつけの指導書をつくり、学校・家庭に配布する。「交通ルールや挨拶、言葉遣い」も含めてはどうか。

(教育長) しつけで子供たちを縛っていくよりは自分が納得し考え、基本的な生活習慣を身につけていく、そういう、スタンスが大事だと思う。指導書をつくり、型にはめるのではなく、家庭のそれぞれの親が考え子どもを育てていく。自分がいい社会人・大人

になるう、周りと上手につきあっていける社会性を身につけるように、そんな環境づくりに意を注いでいきたい。

(問) 非行対策として子どもの生活指導員、学校支援ボランティアの委嘱された方による生活指導、「非行・万引き」などそのような報道は聞かれないがどうか。

(こども課長) 児童・生徒の非行について育成会・交番所長からの話では、当町は幸いそのようなことがないとのことだ。

(問) 現在、PTAの役員・教員の先生方から少年補導員に委託されている先生、また松川中央小・北小・中学校、三校育成に指導を応援・協力をしてくだ

さる方が100人近くもおられること。当町では、学校・家庭・地域一体となつて、子供の健全育成の活動を行うボランティアを設置し成果を上げているか。

(教育長) 学校応援の組織が立ち上がっている。北小では登下校の見守り隊、中央小も同じ、学校行事北小では登下校の見守り隊、中央小も同じ、学校行事は地域の方も参加し、地域の視点で子供たちを上手にアドバイスし、目的が達成できると考えている。

(問) 平成19年度より「放課後子どもプラン」がスタートした。この放課後プランは、地域社会の中で、放課後や週末等に子供たちが安全で安心して、健やかに育まれるよう、文科省の「放課後子ども教室推進事業・厚労省の「放課後児童健全育成

事業」を一体的あるいは連帯して実施するもの。町内の各児童クラブの体制についてはどうか。

(こども課長) 名子児童館恵175人、上片桐児童館73人合計248人定員が利用している。

(問) 放課後等デイサービス事業安定確保について。身障者放課後の居場所として2012年度から創設した放課後などデイサービスについて、指定事業所の急増に伴い支援の質を

おとしているがどうか。

(保健福祉課長) 就学している障がい児に対して事業の終了後とか、日曜日、夏休みなどの休学中に学校と連帯しながら生活能力向上を図るための必要な訓練というようなことで、社会交流を通じて健全な育成を図ることを目的としたサービスだ。実際利用状況は、町内に「エコール親愛」が定員10人というなか、放課後等デイサービスが提供されている。



元気におでかけ

いっばん質問

問 旧青年の家はどう活用するのか

答 建物を活かす基本線は変更なし

(問) これで行こうというゴーサインは、いつ出すのか。

(町長) 宿泊施設として利用していく基本方針に変わりはない。委員会や全協に資料などを提示し様々なご意見をいただいているのが現状かというふうに認識している。

(産業観光課長) 最長で平成33年度に執行するスケジュールで考えている。今後運営を任せることになるセンターとの十分な協議が必要。地元の皆さん、町民の皆さんのご意見を伺う

場を設けていく考えも持っている。

(問) 観光の拠点施設として十分機能が果たせるのか。

(産業観光課長) 機能を果せるような施設にしていくよう考えることが第一で努力をしている。

(問) リニューアル計画の財源調達と投資効果は見込めるのか。

(産業観光課長) 財源については県補助、辺地債など考えられるが現時点では明言できない。投資効果に見合う計画と適正な経営を検討検証していく。

(問) 外遊びプロジェクト「あそびの楽校まつかわ」の実績は。

(生涯学習課長) 次世代を担う子どもたちが自

うのは、疑問に思うが。

(産業観光課長) 平成29年度の実績で約9割の方が日帰りであることから専門家の検証でも「松川町は、人口の割に宿泊ができる施設」が少ないという指摘もあり、観光まちづくりを進める上では宿泊は外せない。

(問) 県から旧青年の家が町に移管された際に交された覚え書の条項にある、更地にして新しい建物を建てるという考えはないのか。

(町長) まち・ひと・しごと、地方創生として考えてきている。北部5町村の広域交流や連携を取っていくこと。ライフスタイルの変化。交流人口増。それらをふまえてどう進めていくかが課題だ。更地に

して新たに建てる、あるいは違うものに使うという論議は聞いている。今の時点で、今ま

での町の方向性として

議会の皆さんにもお諮らいをし、あの建物を活かしてやっていけないかというのが今まで来ている基本線だ。それををひとつの基本線にしなから、まちづくりセンターの理事会あるいは地域など、また議会の皆さんなどのご意見をいただきながらやっていかななくてはいけないかと思っ

(意見) 更地も一つの選択肢として検討すべきだ。まちづくりセンターがやらなければい

けないのは、「食」の方の対策だ。松川町に

来られた方が食事をする施設がほとんど無い。施設が無理なら南信州で消費される観光客向けの食材は、是非、松川町で収穫された野菜やくだものを提供する

方法もあると思う。まちづくりセンターが発足し公益事業の根幹をなす旧青年の家の有効活用も大事だが、教育と福祉に対し、補助金を出すのではなく事業で町民益が得られるように要望する。



あそびの楽校まつかわ

問 町発展のため次期4年、何をするのか

答 今日はい具体的なものは持っていない

(問) 人口減少のまっただ中、どのようにして町を発展させていくのか。

(町長) 人口減少が進んでいるのが、松川町の現状。ストップ人口急減社会という言葉で2期目に臨んだ。そのために掲げたのが出会い、結婚、出産、子育て、仕事、住まいの6つ。しかしながら、現実の数字は厳しいものが現れていると思っている。そうしたなかで人口が減っても住民の人たちが会話を交わし、明るく過ごせる町

づくりを目指すには何をしていたらいいんだろうと今考えているのが現状だ。

(問) 今、考えている課題だとどう思うか、今までの町長の対応政策ではストップ人口急減ができなかったと言いうことではないか。第5次総合計画の平成31年10月の人口目標は1万2950人である。現状は。

(まちづくり政策課長) 今年10月1日付けで1万2769人、目標値から181人マイナスという状況。

(問) 目標期日の1年前で既にこれだけ下回る減少である。目標実現のための3つの取組①高校卒業後および大卒卒業後の定住者数

を増やす。
②各世代における定住者(移住者)を増やす。
③出産適齢期の女性人口を増やす。

の検証はしているのか。具体的な数値目標も示されているが現状は。

(まちづくり政策課長) 数値は把握できていない。検証はできていない。

(問) まちづくり政策課だけの取組で打開できる問題ではない。トータルで連携を密にして取り組まなければと指摘して来たができていない。
高森町に人口が抜かれたと聞くが事実か。

(まちづくり政策課長) 10月1日時点で高森町が1万2832人差は63人です。

(問) 高森町に人口は抜かれてしまった。人口目標の取組の検証もしていない。町長の評価と課題は。

(町長) 数値は承知している。競争ではないけれど真剣に受け止めなければならぬ。子育てには力を入れていくものの残念だが当町は年少人口が少ないと認識している。

(問) このような町の状況で、次期町長選に出馬とのことだが、これまでの深津町政の評価と検証は。そしてこれから4年間何をしていくのか。

(町長) 今日この場で具体的なものは持っていない。ただ、自分なりに今までを精査して判断した。しっかりしたものはまた打ち出していききたい。

(意見) 町の発展を左右する重要な問題。検証と対策は急務なはず。

問 保育園、学校の勤務状況調査は

答 学校については毎年実施されている

(問) 保育園や学校職員の勤務状況を調査すると答弁している。報告がまだないが。また、いじめ件数の増加が懸念されているが。

(子ども課長) 時間外勤務については、平成29年度と比較し中央小で1時間、北小で30分、中学で2時間減少している。町費で職員の増員をし改善に努めている。また、タイムレコーダや給食用ソフトの導入、部活指導員の増員、

在り方の検討など進めていきたい。保育園での時間外勤務は平均で50時間。休憩も各園でローテーションを組むなど対応している。また、保育園でなければ分からない実情もあるので委員を選出して職場改善委員会を立ち上げ、一緒になって改善を進めている。

いじめに関しては小学校6件、中学校13件と県へ報告した。いじめにあった、見たのアンケートでは小学校58人、中学校41人が答えていて、そのつど生徒や保護者への対応をとっている。また、いじめの防止基本方針については平成30年の3月に制定をして対応している。



この町に暮らして

三人の子供たちの故郷・松川町

上片桐上町 伊藤 篤

生まれは愛知県。少年時代の大半を名古屋で過ごしました。高校時代はラグビー、14番右のウイング。

物心ついた頃より、登山・キャンプ・スキーなどで長野の山野にとことん親しみ、忘れられない鮮烈な思い出が幾つもあります。上松町で、家具職人として修行していたことも。

医学部卒業後、「スーパードクター」として長野赤十字病院で研修したことを契機に、



以後、県内の病院で勤務を続けてきました。塩尻市出身の連れ合いと、住むべき土地を探し回ること、2年。県内を中心に徹底的にくまなく辿り、着いたのがこの松川町でした。

森林医学をライフ・ワークとする私にとって、ここは、あらゆる観点から満足・納得の地でした。

町のご厚意により、区有林を一部、譲渡していただき、山小屋に毛の生えたような住まいを建て、はや10年。3人の子どもたちは、いずれもこの町で生まれました。

標高、830m。窓から見える南アルプスの四季の移ろいは、何年経つても新鮮です。

猿、鹿、猪に、熊までも出没するため、銃や罠の免許を連れ合い共々取得。銃は身を守るためではありますが、地元猟友会の方々と、アウトドア・ライフを満喫しています。

趣味のひとつは自転車。職場

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者 ● 子どもたち



ジュニアバドミントンクラブ

礼儀正しく挨拶ができ、バドミントンが出来る事に感謝をし、男女とも元気に日々の練習を頑張っています。中学生で興味がある方、見学・体験歓迎します。

【月・木 19時～21時 中学校体育館】
【土・日 13時～ 町民体育館等】

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

の日赤病院との標高差300mを、基本、自転車で行って復しているのですが、ヒルクライム(坂登り)レースの練習、そしてダイエットの動機づけにもなっていて、全く苦になりません。

都会育ちで「根無し草」のような存在であった私。そのことへのわだかまりが拭えなかったものです。いわゆる「イーターン」ですが、私たちの子どもにとつて、この松川町はまごころとなく【故郷】なのであって、我が子らを慈しむように、未永く、この町とともにありたいと願っています。

あとがき

編成替えにより広報部のメンバーが変わりました。一人でも多くの町民の皆様にご興味を持っていただけるように、分かりやすい編集に心がけていきます。また、以前も行っていましたが、また、以前も行っていましたが、また、以前も行っていましたが、

募集していきたく考えています。多くの皆様からご意見を頂きながら、より充実した議会だよりを目指していきますので、今後ともよろしくお願いたします。

(広報部一同)

広報部 (編集委員会)

(部長) 坂本 勇治
(副部長) 大蔵 洋夫
(部員) 中平 文夫
松井 悦子
森谷 岩夫
川瀬 八十治
米山 郁子